

# 工学部研究資料館の現状報告

○中村秀二，倉田 大，白川武敏，清水久雄，平田正昭，廣田将輝

技術部 機械加工グループ

## 1 はじめに

工学部研究資料館の建物（明治 41 年）と館内の工作機械 11 台は，平成 6 年に国指定重要文化財の指定を受け，一般社団法人 日本機械学会より機械遺産の認定（平成 19 年）も受けた貴重な歴史的な文化財である。平成 28 年熊本地震の震災後の平成 30 年の工学部研究資料館の現状について報告する。

## 2 工学部研究資料館の現状について

本学には国指定重要文化財である五高記念館，化学実験場，工学部研究資料館などがあり，そのすべてが被災し，これらの建物は現在修復中である。以下に現在の工学部研究資料館の写真を示す。



建物外観（西側から撮影）



建物内部（東側から撮影）



仮設小屋（外観）



仮設小屋内部（工作機械）

## 3 おわりに

現在，工学部研究資料館の修復作業は，建物の改修工事が進められており，作業完了までには約 2 年を見込んでいる。この歴史的な建造物と産業の原点と言える重要文化財工作機械が修復され，多くのみなさまに見学していただけるよう今後の維持管理に努めていきたい。

- |                     |                 |                  |
|---------------------|-----------------|------------------|
| ※工学部研究資料館に関すること。    | 建築学科 伊東龍一 教授    | Tel 096-342-3554 |
| ※工作機械および動態保存に関すること。 | 工学部 技術部 中村秀二    | Tel 096-342-3779 |
| ※工学部研究資料館全般に関すること。  | 自然科学系事務課 総務人事担当 | Tel 096-342-3513 |